

同廿五日 曇天
御国江之御飛脚便有之 今日之日付にて藤兵衛様方書状差上申候事

同廿六日 雨天
今日内藤瀬兵衛殿當着一而懸御目 御国元之御左右承之申候事

同廿七日 曇天
今日無事

同廿八日 晴天
今朝六之上刻御使者を以御肴被献之候趣者御姫様被遊御誕生候付被成御祝御肴被献之候由御手廻頭乃美仁左衛門様江原林齊を以御口上申之御返答承り増野庄兵衛を以申上候事
今日御理申出浅草觀音江參詣仕 増三郎右衛門殿増野左平太同道仕り茶屋立寄茶食等相認め申候 折節東叡山宮様御通路二行懸り 御輿之戸開候而有之 尊顏奉拝之候 帰道勧進相撲江立寄候処相撲終丸山権太左衛門与申相撲取二行懸り申候日本一之大男之由申候事 付り 夜切手取付置夜二入罷歸候事

十一月朔日 晴天
當日之為御祝詞 御中屋敷被成御出候付御供罷出候事 從御国元便有之 中川太郎兵衛殿より之書状落手

同二日 曇天
今日無事

同三日 晴天
今夜四ツ半時湯嶋天神之脇妻乞之稻荷之社邊出火 上野御請場之物通故 旦那様一茂

同廿五日 曇天
御国えの御飛脚便これあり、今日の日付にて藤兵衛様方書状差し上げ申し候事

同廿六日 雨天
今日内藤瀬兵衛殿到着にて御目に懸かり御国元の御左右(これを)承り申し候事、

同廿七日 曇天
今日無事、

同廿八日 晴天
今朝六の上刻御使者を以て御肴(これを)献じられ候趣は、御姫様御誕生遊ばされ候に付き、御祝い成され御肴(これを)献じられ候由、御手廻頭乃美仁左衛門様江原林齊を以て御口上(これを)申し、御返答承り、増野庄兵衛を以て申上げ候事、
今日御理り申し出で浅草觀音え參詣仕り、増野三郎右衛門殿増野左平太同道仕り、茶屋立寄り茶食等相認め申し候、折節東叡山宮様御通路に行き懸り御輿の戸開候てこれあり、尊顏(これを)拝し奉り候 帰り道勧進相撲え立ち寄り候処、相撲終わりに丸山権太左衛門と申す相撲取りに行き懸り申し候、日本一の大男の由申し候事、 付り 夜切手取り付け置き、夜に入り罷り歸り候事、

十一月朔日 晴天
當日の御祝詞の為御中屋敷御出で成され候に付き、御供罷り出で候事、 御国元より便これあり中川太郎兵衛殿よりの書状落手

同二日 曇天
今日無事、

同三日 晴天
今夜四ツ半時湯嶋天神の脇妻恋の稻荷の社(注)邊り出火、上野御請場の物通り故、旦那様にも

【注】妻恋の稻荷=湯嶋天神の脇ではなく神田明神の脇の誤りである。

被遊御出馬候処 東叡山之黒門前被成御出候 及
鎮火候得共 暫ク御控 弥無子細鎮火一候故御帰座
被遊候事
付り 御供罷出候事

同四日 晴天
今日無事

同五日 晴天
今日無事

同六日 雨天
今日麻布日ケ窪江為伺御機嫌被遊御出御供罷出候事

同七日 曇天
今日之日付ニ益田四郎兵衛殿江悔之書状差下申候事

【73頁】

同八日 雨天
夜中以來且那樣少々御機嫌不被遊御勝候付

今朝御出伺不被遊候付御使者を以御機嫌
被相伺候 御使者勤之原林育を以乃美仁左衛門様
江御口上申之 御返答承り田祢清兵衛を以申上候事

御飛脚便有之藤兵衛様御式所様勅左衛門様内藤之を者儀
村上喜左衛門様御母子様書状差上申候事

内藤市三郎殿増野佐二郎殿江返答之書状差下申候事
今日法林院様御正誕生二行被成御祝御肴被献之

児玉傳兵衛殿迄之御口上御取次役藤井七郎左衛門殿を以
申之 御返答承り増野庄兵衛を以申上之候事

今夕飯後増三郎左衛門殿大谷小源二同道仕神明前へ
為行歩罷出 少々買物杯仕罷歸候事

今日より且那樣御機嫌御快被成御座 如例御出伺
被遊候事

御出馬遊ばされ候処、東叡山の黒門前御出で成され候刻
(カ)鎮火に及び候得共暫く御控え、弥子細なく鎮火に候
故、御帰座遊ばされ候事、
付り 御供罷り出で候事、

同四日 晴天
今日無事、

同五日 晴天
今日無事、

同六日 雨天
今日麻布日ケ窪え御機嫌伺いの為御出で遊ばされ、御供
罷り出で候事、

同七日 曇天
今日の日付にして益田四郎兵衛殿え悔やみの書状差し下し
申し候事、

【73頁】

同八日 雨天
夜中以來且那樣少々御機嫌御勝れ遊ばされず候に付き、

今朝御出伺遊ばされず候に付き、御使者を以て御機嫌相
伺われ候御使者(これを)勤める、原林育を以て乃美仁左衛
門様え御口上(これを)申し御返答承り、田祢清兵衛を以て
申し上げ候事、

御飛脚便これあり、藤兵衛様 御式所様勅左衛門様内藤
のおは儀 村上喜左衛門様御母子様書状差し上げ申し候
事、

内藤市三郎殿 増野佐二郎殿え返答の書状差し下し申し候
事、

今日法林院様御正誕生に付き、御祝い成され御肴(これを)
献じられ、児玉傳兵衛殿迄の御口上、御取次役藤井七郎左
衛門殿を以て(これを)申し、御返答承り、増野庄兵衛を以て
(これを)申し上げ候事、

今夕飯後増野三郎左衛門殿 大谷小源二同道仕り神明前へ
行歩の為罷り出で、少々買物杯仕罷り歸り候事、

今日より且那樣御機嫌御快く御座成され、例の如く御出
伺遊ばされ候事、

同日 晴天
今日服部小右衛門殿被成御招 御相伴井原孫左衛門様
小笠原治左衛門殿 津田武助殿 御念入之御取持之由
候事
付り 服部者南郭与申候而 當時名高き
儒学人二而候事
今日御理申出増三郎左衛門殿 多祢清兵衛同道仕目黒
不働江参詣仕候事

【74頁】

同十一日
今日無事

同十二日 晴天
松平上総入道様御死去一付松平薩摩守様為
御悔被成御出 直様瑞聖寺へ被遊御参詣候事
付 明日泰桓院様御忌日一付可被成御参詣筈
候得共、火消し御番被成御奉候以後者風立候日者
御参詣不 被相成候付 今日風茂吹不申天氣
長閑候故 被成御引寄被遊御参詣候与之御事
付 御供罷出候事

同十三日 晴天
今日無事

同十四日 曇天
今日從御国元飛脚便有之 藤兵衛様大谷治右衛門様
井上三左衛門殿より之御状到来落手

同十五日 晴天
當日之為御祝詞御中屋敷被遊御出候付御供罷出候事
同十六日 晴天
今日無事

同日 晴天
今日服部小右衛門殿御招き成され、御相伴井原孫左衛門
様、小笠原治左衛門殿・津田武助殿御念入りの御取り持ち
の由に候事、
付り 服部は南郭と申し候て、 當時名高き儒学人にて
候事、
今日御理り申し出で増野三郎左衛門殿・多祢清兵衛同道
仕り目黒不動参詣仕り候事、

【74頁】

同十一日
今日無事、

同十二日 晴天
松平上総入道様御死去に付き、松平薩摩守様へ御悔やみの
為御出で成され、直ぐ様瑞聖寺へ御参詣遊ばされ候事、
付 明日泰桓院様御忌日に付き、御参詣成さるべく筈に
候得共、火消し御番御奉り成され候以後は、風立候
日は御参詣相成されず候に付き、今日風も吹き申
さず天氣長閑候故、御引き寄せ成され御参詣遊ば
され候との御事、
付 御供罷り出で候事、

同十三日 晴天
今日無事、

同十四日 曇天
今日御国元より飛脚便これあり、藤兵衛様 大谷治右衛門
様・井上三左衛門殿よりの御状到来落手、

同十五日 晴天
當日の御祝詞の為御中屋敷御出で遊ばされ候に付き、御供
罷り出で候事、
同十六日 晴天
今日無事、

同十七日 晴天
圓珠院此度入院一付 為御歡素麵一曲御進入
御相等之御口上

付 圓珠院隱居要心院江之御口上御隱居
首尾能被仰出候 御歡之使者相勤之歸道
下屋之茶屋立寄 麥蕎切相認め候而上野
中堂池之端之弁天 神田明神參詣仕
罷歸候事
御返答多祢清兵衛を以申上之 彼院奏者
貴教坊与申僧江出相申候事

同十八日 晴天
今日雁御拝領 為御歡御中屋敷被遊御出伺 御供
罷出候事

同十九日 晴天
今日無事

同廿日 曇天
今日無事

同廿一日 晴天
今日無事

同廿二日 晴天
今日無事

同廿三日 晴天
今日御理申出買物一罷出 神明前二而少々買物仕
罷歸候事

同廿四日 晴天
今日從御国元飛脚便有之 藤兵衛様 益八郎左衛門殿
吉賀金三郎殿より之書状落手
今夕御国元江御飛脚便有之候付 藤兵衛様方書状
差上申候事

同十七日 晴天
圓珠院此の度入院に付き、御歡びの為素麵一曲御進入御相
等の御口上、

付 圓珠院隱居要心院えの御口上、御隱居首尾能く仰
せ出だされ候、御歡びの使者これを相勤め、歸り道
下谷の茶屋立ち寄り、麥蕎切相認め候て、上野中堂
池の端の弁天 神田明神參詣仕り罷り候事、
御返答多祢清兵衛を以てこれを申し上げ、彼の院
奏者貴教坊と申す僧出相申し候事、

同十八日 晴天
今日雁御拝領 御歡びの為御中屋敷御出伺遊ばされ、御
供罷り出で候事、

同十九日 晴天
今日無事、

同廿日 曇天
今日無事、

同廿一日 晴天
今日無事、

同廿二日 晴天
今日無事、

同廿三日 晴天
今日御理り申し出で買物に罷り出で、神明前にて少々買
い物仕り罷り歸り候事、

同廿四日 晴天
今日御国元より飛脚便これあり、藤兵衛様 益田八郎左衛
門殿 吉賀金三郎殿より之書状落手、
今夕御国元江御飛脚便これあり候に付き、藤兵衛様方書
状差し上げ申し候事、

同廿五日 晴天
今晚村上喜左衛門様御母子様よりの書状落手

同廿六日 晴天

今日御理申出上野御玉屋拜見仕候、同心増野三郎右衛門殿多祢清兵衛波田与一左衛門河上左太夫河上市左衛門中村美濃八、いづれも上下着用白井甚左衛門殿福嶋治右衛門殿心遣を以常憲院様御玉屋、東照宮御宮拜見仕り又々白井殿木屋參、夕飯相認罷歸候事
今夜中八ツ時前、御請場物通り出火、早板打早速御出馬可被成二而御木屋御門前迄被成御出候刻鎮火之知せ、喚鐘打申候故直様御歸座被遊候事
付、御供仕り御門前迄罷出候事

77頁

同廿七日 曇天
今日無事

同廿八日 晴天
今日御中屋敷、宇田川、日ヶ窪、麻布為御勤被遊御出候付御供罷出候事

同廿九日 晴天
今日無事

同晦日 晴天
今日上野圓珠院轉衣二付、御歛使者御相應之御口上相勤之、奏者恵性師申置罷歸候事
付、歸道下屋邊行歩仕り帰国土産物等少々買得仕候事

十二月朔日 曇天
今朝御使者を以歳暮之御祝儀御馬代記録所持參被仰付、御帳場江罷出御帳方江申達筆元見届罷歸候事
歳暮之為御祝詞御中屋敷被遊御出、御供罷出候事

同廿五日 晴天
今晚村上喜左衛門様御母子様よりの書状落手、

同廿六日 晴天

今日御理り申し出で上野御玉屋拜見仕り候、同心増野三郎右衛門殿多祢清兵衛波田与一左衛門河上左太夫河上市左衛門中村美濃八、いづれも祢着用、白井甚左衛門殿福嶋治右衛門殿心遣を以て常憲院様御玉屋、東照宮御宮拜見仕り、又々白井殿木屋參り夕飯相認罷り歸り候事、
今夜中八ツ時前、御請場物通り出火、早板打ち、早速御出馬成さるべしにて御木屋御門前迄御出で成され候刻、鎮火の知らせ喚鐘打ち申し候故、直ぐ様御歸座遊ばされ候事、
付、御供仕り御門前迄罷り出で候事、

77頁

同廿七日 曇天
今日無事、

同廿八日 晴天
今日御中屋敷、宇田川、白ヶ窪、麻布為御勤めの為御出で遊ばされ候に付き、御供罷り出で候事、

同廿九日 晴天
今日無事、

同晦日 晴天
今日上野圓珠院轉衣に付き、御歛び使者御相應の御口上(これを)相勤め、奏者恵性師申置罷り歸り候事、
付、歸り道下谷邊り行歩仕り帰国土産物等少々買得仕り候事、

十二月朔日 曇天
今朝御使者を以て歳暮の御祝儀、御馬代記録所持參仰せ付けられ、御帳場え罷り出で御帳方え申し達し、筆元見届け罷り歸り候事、
歳暮の御祝詞の為中屋敷御出で遊ばされ、御供罷り出で候事、

付 先達而御使者を以御祝儀持参被仰付候
是又相勤申候事

— 同日無事 晴天

【78頁】

— 同日無事 晴天
同日 御国元便有之藤兵衛様真鍋九左衛門吉武松二郎より書状到来落手

— 今日無事 晴天

— 今日御拝領之歴御開き一付御固屋へも御客等多ク有之候事 晴天

— 今日無事 晴天

— 今日瑞聖寺 飛鳥殿仕奉之法事有之候付
御代香使者勤之於彼寺最澄傳右衛門殿と申仁江出相 御代香相勤候上にて無菜之齋
差出可申候間 座敷へ通候様一与之儀一付段々辞退仕候得共 達而之挨拶一付座敷へ通候處
二汁五菜之齋被差出 生菓子薄茶等迄出
料理半 傳右衛門殿挨拶等有之候事
付 罷り歸り早速増野庄兵衛を以申上之候事
一通り門前迄罷り歸り又々彼の寺え立ち歸り候趣は瑞聖寺此の間は寒氣御見廻りの為御出で、其の上一種御贈惠預り存候 為御礼の為使者を以て申し候由の御口上、高山と申置罷り候事
付 歸道神明前邊行歩仕歸国土産物の買物等少々仕候事

付 先達て御使者を以て御祝儀持参仰せ付けられ候、是又相勤め申し候事、

— 今日無事、 晴天

【78頁】

— 今日御国元より便これあり、藤兵衛様 真鍋九左衛門吉武松二郎より書状到来落手、 晴天

— 今日無事、 晴天

— 今日御拝領の歴御開きに付き、御固屋へも御客等多クこれあり候事、 晴天

— 今日無事、 晴天

— 今日瑞聖寺において飛鳥殿仕奉の法事これあり候に付き、御代香使者(これを)勤める、彼の寺において最澄傳右衛門殿と申す仁江出相、御代香相勤め候上にて無菜の齋差し出し申すべく候間、座敷へ通候様にとの儀に付き、段々辞退仕り候得共、達つての挨拶に付き、座敷へ通候處、二汁五菜の齋差し出され、生菓子薄茶等迄出、料理半ば傳右衛門殿挨拶等これあり候事
付 罷り歸り早速増野庄兵衛を以て(これを)申し上げ候事、
一通り門前迄罷り歸り、又々彼の寺え立ち歸り候趣は、瑞聖寺此の間は寒氣御見廻りの為御出で、其の上一種御贈惠預り恭なく存じ候、御礼の為使者を以て申し候由の御口上、高山と申す僧え申し置き罷り歸り候事、
付 歸り道神明前邊行歩仕り、歸国土産物の買物等少々仕り候事、

同八日 曇天

明日御中屋敷江 殿様為御振廻被成御出候付旦那様毛被成御出候様一与之御事故 為御礼今日被成御出候事

毛山城守様寒氣為御見廻被成御出 御彼方御家中福間彦大夫殿 粟屋内蔵殿へ毛寒中為御見廻御

先供衆之中吉人被遣候事

毛讃岐守様江御同断 御彼方御家中稻田伊左衛門殿へ同断

瑞聖寺天徳寺へ被遊御参詣候事

宇田川江歳暮為御祝詞 過儿朔日以御使者御祝儀被献之候 今日御身柄様被遊御出候事

御帰道神明へ被遊御参詣 被遊御帰座候事

付いづれ茂御供仕候事 津田仁左衛門病氣之様子相聞候故聞廻之書状差下申候事

同九日 雨天

今日御中屋敷被遊御出 夜二入四ツ時被遊御帰座候事

付り 御供罷出候事

同十日 晴天

今日無事

同十一日 晴天

過儿朔日歳暮之御祝儀以使者被献之候 仍而麻布日ケ窪へ被遊御出候事

天徳寺脇寺 智学院二管弦有之候付 被遊御立寄 被成御聴聞 御供中へ毛御聞せ被成候事

今日無事

雨天

同十二日

同八日 曇天

明日御中屋敷え殿様御振廻(ふるまい力)の為御出で成され候に付き、旦那様へ毛御出で成され候様にとの御事故、御礼の為今日御出で成され候事、

毛利山城守様え寒氣御見廻りの為御出で成され、御彼の方御家中福間彦大夫殿 粟屋内蔵殿へ毛寒中御見廻りの為御

先供衆の中吉人被遣わされ候事、

毛利讃岐守様へ御同断、御彼の方御家中稻田伊左衛門殿へ同断

瑞聖寺 夫徳寺へ御参詣遊ばされ候事、

宇田川え歳暮御祝詞の為過る朔日御使者を以て御祝儀(これを)献じられ候、今日御身柄様御出で遊ばされ候事、

御帰り道神明へ御参詣遊ばされ御帰座遊ばされ候事、

付いづれも御供仕り候事、

今日御国元へ御飛脚便これあり、津田仁左衛門病氣の様子相聞候故、聞き廻しの書状差し下し申し候事、

同九日 雨天

今日御中屋敷御出で遊ばされ、夜に入り四ツ時御帰座遊ばされ候事、

付り 御供罷り出で候事

同十日 晴天

今日無事

同十一日 晴天

過る朔日歳暮の御祝儀使者を以て(これを)献じられ候、仍つて麻布・自ケ窪へ御出で遊ばされ候事、

天徳寺脇寺智学院に管弦これあり候に付き、御立ち寄り遊ばされ御聴聞成され、御供中へ毛御聞せ成され候事、

今日無事

雨天

同十二日

同十三日 曇天
今日青松寺 瑞聖寺 被遊御參詣候付御供罷出候事

同十四日 晴天
今日無事

同十五日 曇天
今日玉性院様御三年忌被成 御回来候一付替相

御願申出候而 御理申出 陽泉寺參詣仕 高德院様

玉性院様 御靈前御焼香仕候事
今朝御寺參次手二 大下馬參り 諸御大名御登城
御往來見物仕候事

【81頁】

同十六日 雪天
今日無事

同十七日 晴天
今夕飯後青松寺 被遊御參詣 御供罷出候事

付 於途中松平阿波守様 被成御行逢 被成御下乗候事

同十八日 晴天
今日御理申出 風呂屋 合品川礼助同道にて参り候事

今日熊谷帯刀様御固屋 為御煤除

殿様被遊御下候 且那樣御相伴被仰付之由二而

御彼方様 被成御出候事
殿様御上り被遊候上にて 右為御歎御相應之御

付 口上御使者勤之 御奏者田中甚助御彼方様
御留守にて申置罷歸候事
例年今月十六日被遊御下り之由候得共 十六日殊外

大雪にて今日被遊御下候由之事
今晚御中屋敷より御拝領被遊之由にて御菓子

頂戴被仰付候事
同十九日 晴天
今日無事

同廿日 晴天
今日無事

同十三日 曇天
今日青松寺 瑞聖寺御參詣遊ばされ候に付き、御供罷り出
で候事、

同十四日 晴天
今日無事、

同十五日 曇天
今日玉性院様御三年忌御回来成され候に付き、替え相御願

い申し出候て御理り申し出で、陽泉寺參詣仕り高德院様、

玉性院様御靈前御焼香仕り候事、
今朝御寺参り次手に大下馬參り、諸御大名御登城御往來

【81頁】

同十六日 雪天
今日無事、

同十七日 晴天
今夕飯後青松寺 御參詣遊ばされ、御供罷り出で候事、

付 途中において松平阿波守様 御行き逢い成され、御下
乗成され候事、

同十八日 晴天
今日御理り申し出で風呂屋 合品川礼助同道にて参り候事、

今日熊谷帯刀様御固屋 御煤除の為殿様御下り遊ばされ

候、且那樣御相伴仰せ付けらるの由にて御彼の方様 御出で

成され候事、
殿様御上り遊ばされ候上にて右御歎びの為御相應の

御口上御使者(これを)勤める、御奏者田中甚助御彼の

方様御留守にて申し置き罷り歸り候事、
例年今月十六日御下り遊ばさるの由に候得共、十六

日殊の外大雪にて今日御下り遊ばされ候由の事、
今晚御中屋敷より御拝領遊ばさるの由にて御菓子頂戴仰せ

付けられ候事、
同十九日 晴天
今日無事、

同廿日 晴天
今日無事、

同廿一日 雨天
 今日御国元江便有之 藤兵衛様江書状差上申候事
 今日御使者を以熊谷帯刀様より御肴被差越候趣者
 此度
 殿様私固屋江被遊御下候処 御機嫌能被遊御上り
 恐悦至極奉存候 仍而肴一折致進上之候由之御口上
 右御礼として御相等之御口上御使者勤之 御奏者
 齊藤幸七殿御彼方様御留守故申置罷歸候事

同廿二日 晴天
 今日御理申出 田原権左衛門同道仕市中食物一出候事

同廿三日 晴天
 今日御餅突二付 銘々頂戴被仰付候事

同廿四日 晴天
 今日無事

同廿五日 雨天
 堀田相模守様 松平右近将監様 酒井雅楽頭様
 西尾隠岐守様 御老中御四人様 寒氣為御見廻被成
 御出候御同心熊谷帯刀様御先乘小川貞右衛門殿御介添高坂
 十兵衛殿四ツ時前之御供揃にて被成御出候事
 御歸路有馬日向守様 寒中為御見廻被成御出候事
 天徳寺江被遊御参詣候事
 付り 御供罷出候事

同廿六日 晴天
 今日無事

同廿七日 晴天
 今日歳暮之御祝詞為可被仰上 日ヶ窪 麻布
 毛甲斐守様 被成御出候事 御供罷出候事

同廿一日 雨天
 今日御国元え便これあり、藤兵衛様え書状差し上げ申し候事、
 今日御使者を以て熊谷帯刀様より御肴差し越され候趣は、
 此の度殿様私固屋え御下り遊ばされ候処、御機嫌能く御上
 り遊ばされ恐悦至極に存じ奉り候、仍つて肴一折(これを)進
 上致し候由の御口上、右御礼として御相等の御口上御使者
 (これを)勤める、御奏者齊藤幸七殿御彼の方様御留守故、申
 し置き罷り歸り候事、

同廿二日 晴天
 今日御理り申し出で、田原権左衛門同道仕り市中食い物に
 出で候事、

同廿三日 晴天
 今日御餅突きに付き、銘々頂戴仰せ付けられ候事、

同廿四日 晴天
 今日無事、

同廿五日 雨天
 堀田相模守様 松平右近将監様 酒井雅楽頭様 西尾隠岐守
 様 御老中御四人様 寒氣御見廻りの為御出で成され候、御同
 心熊谷帯刀様 御先乘小川貞右衛門殿 御介添高坂十兵衛殿四
 ツ時前の御供揃にて御出で成され候事
 天徳寺え御参詣遊ばされ候事、
 御歸り路有馬日向守様 寒中御見廻りの為御出で成され候
 事、
 付り 御供罷り出で候事、

同廿六日 晴天
 今日無事、

同廿七日 晴天
 今日歳暮の御祝詞仰上げらるべく為日ヶ窪 麻布 毛甲斐守
 様 御出で成され候事 御供罷り出で候事

今夜中八ツ時 御請場出火二而板打一之手出馬
且那樣二茂被及御出馬候刻 志めり打候故其儀
無御座候事
同夜七ツ時 又々御請場出火二而 早板打御出馬御用意
被成候内 志めり打其儀無御座候事
今日從御国元御便有之大谷治左衛門様中川太郎兵衛殿松原
團之允殿俣賀庄左衛門殿より書状到来之事

同廿八日

晴天

今朝六ツ時 歳暮被成御祝 殿様御干鯛一折被献之候
御陣僧安富寿悦老を以御口上申之 御返答承之候事
今日歳暮を被成御祝 法林院様長寿院様
心涼院様宇田川御奥様
右干鯛一箱宛被献之候 例之通御取次衆を以
御口上申達之 御返答承罷候事
毛山城守様毛讚岐守様江歳暮之御祝儀珍重奉存候
弥御勇健被成御座目出度奉存候以參上御祝詞可申上之
処寸暇無御座 乍略儀以使者目録之通致進上之候由
御口上也 山城守様書ふ三百疋御奏者飯田瀨兵衛殿
讚岐守様書ふ三百疋御奏者渡部三右衛門殿
吉左京様歳暮之御祝儀珍重奉存候 弥以
御勇健被成御座 目出度奉存候 御祝詞以參上
可申上之処 寸暇無御座 以使者申上候由之御口上也
付り 御奏者熊谷又兵衛殿

瑞聖寺江歳暮御祝儀寒氣御見廻旁一種致進上

【84頁】

之候由之御口上也
付り 御進物干温鈍一箱 奏者洞玄師
右御使者相勤之
御鎧被仰付候処 被成御調今日拝見被仰付与之御事
御觸二而拝見被仰付 御熨斗目御勝栗頂戴被仰付候事
今晚御規式之御肴頂戴被仰付候事

今夜中八ツ時御請場出火にて板打一の手出馬、旦那様に毛
御出馬及ばされ候刻、しめり打ち候故、其の儀御座なく候
事、
同夜七ツ時又々御請場出火にて早板打ち御出馬御用意成さ
れ候内しめり打ち、其の儀御座なく候事、
今日御国元より御便これあり、大谷治左衛門様・中川太郎兵
衛殿・松原團之允殿 俣賀庄左衛門殿より書状到来の事、

同廿八日

晴天

今朝六ツ時歳暮御祝い成され殿様御干鯛一折(これを)献じ
られ候、御陣僧安富寿悦老を以て御口上(これを)申し御返答
(これを)承り候事、
今日歳暮を御祝い成され、法林院様・長寿院様・心涼院様・宇
田川御奥様 右干鯛一箱宛(これを)献じられ候、例の通り御
取次衆を以て御口上(これを)申し達し 御返答(これを)承り、
罷り歸り候事、
毛利山城守様 毛利讚岐守様え歳暮の御祝儀珍重に存じ奉
り候、いよいよ御勇健に御座成され目出度く存じ奉り候、參
上を以て御祝詞(これを)申し上ぐべくの処、寸暇御座なく略
儀ながら使者を以て目録の通り(これを)進上致し候由御口上
也、山城守様書ふ三百疋、御奏者飯田瀨兵衛殿、讚岐守様
書ふ三百疋、御奏者渡部三右衛門殿、
吉川左京様歳暮の御祝儀珍重に存じ奉り候、いよいよ以て御
勇健に御座成され目出度く存じ奉り候、御祝詞參上を以て
(これを)申し上ぐべくの処、寸暇御座なく使者を以て申し上げ
候由の御口上也

付り 御奏者熊谷又兵衛殿、
瑞聖寺歳暮御祝儀、寒氣御見廻り旁一種(これを)進上致し

【84頁】

候由の御口上也、
付り 御進物干温鈍一箱、奏者洞玄師、
右御使者(これを)相勤める、
御鎧仰せ付けられ候処御調え成され、今日拝見仰せ付けら
れとの御事御燭れにて拝見仰せ付けられ、御熨斗目 御勝栗
頂戴仰せ付けられ候事、
今晚御規式の御肴頂戴仰せ付けられ候事、

同廿九日 晴天
今日無事

卯正月朔日

晴天

今朝八ツ時過 御規式之御通り頂戴被仰付候事
今朝六ツ之上刻 御太刀馬代御記録所持參被仰付

御帳方江相頼 筆元見届仕候事
右御使者相勤之

今朝五ツ時 御中屋敷被遊御出候付 御供罷出候事
付り 今日之御供張 御駕籠廻り四人 麻上下着用
被仰付候事

今日より御規式間 年寄中 取次役 御供頭 御式臺
奏者吉人熨目着用之事

今晚御規式之御盃頂戴被仰付候事
今日從御国御飛脚便有之 藤兵衛様より御状到来之事

【85頁】

同二日

晴天

今日宇田川日ヶ窪毛甲斐守様江年始為御祝詞被遊
御出候事

付 御供張御先六人 御駕籠脇六人 勿論麻上下着用
御供頭熨斗目麻上下着用之事 御供罷出候事

同三日

曇天

今日吉左京様 毛山城守様 麻布御屋敷今年始為御
祝詞被成御出候事

付 山城守様へ御目録御持參 御祝儀御式臺一置之
右御供罷出候事

付 御歸道芝神明江被遊御參詣直様御歸座被遊候事
御国江御飛脚便有之 藤兵衛様へ書状差上申候事

今晚御城内かかり火立申候故 見物ニ老衆其外同心仕
見物ニ參り候 火五ヶ所一立火之はば式間四方高サ吉丈
計も燃立申候事

付 御出伺之御旗本衆様高灯提夥敷事 誠一目を
驚候事

同廿九日 晴天
今日無事

卯正月朔日(注)

晴天

今朝八ツ時過ぎ御規式之御通り頂戴仰せ付けられ候事、
今朝六ツの上刻 御太刀馬代御記録所持參仰せ付けられ、
御帳方相頼み 筆元見届仕候事、右御使者(これを)相
勤める、

今朝五ツ時御中屋敷御出で遊ばされ候に付き、御供罷り出で
候事、

付り 今日之御供張り御駕籠廻り四人、麻祿着用仰せ付
けられ候事、

今日より御規式間、年寄中 取次役 御供頭 御式臺奏者吉
人、熨斗目着用之事、

今晚御規式之御盃頂戴仰せ付けられ候事、
今日御国より御飛脚便これあり、藤兵衛様より御状到来

(注)此処より延享5年(1748)戊辰の記事。卯は誤記。

【86頁】

同二日

晴天

今日宇田川・白ヶ窪 毛利甲斐守様江年始め御祝詞の為御出
で遊ばされ候事、

付 御供張り御先六人、御駕籠脇六人、勿論麻祿着用、
御供頭熨斗目麻祿着用之事、御供罷り出で候事、

同三日

曇天

今日吉川左京様 毛山城守様 麻布御屋敷今年始御祝詞の
為御出で成され候事

付 山城守様へ御目録御持參 御祝儀御式臺に(これを)
置く

付 右御供罷出候事
御歸り道芝神明え御參詣遊ばされ、直ぐ様御歸座遊

御国え御飛脚便これあり、藤兵衛様へ書状差し上げ申し候
事、

今晚御城内かかり火立ち申し候故、見物に老衆其の外同心
仕り見物に參り候、火五ヶ所に立ち火のはば式間四方、高さ
吉丈計りも燃え立ち申し候事、

付 御出伺の御旗本衆様、高灯提夥敷事誠に目を驚き
候事、

昨夜九ツ時御請場出火、早者ん打申候付、早速御用意被成中之御門迄被成御出候節、志めり打申候故被成御帰座候事、
同夜八ツ時過ぎ又々御請場出火、早者ん打申候付御出馬御用意之内志めり打、不被遊御出候事

【86頁】

同四日 晴天
今日無事

同五日 晴天
今日青松寺江被遊御参詣候付御供罷出候事
付り 御供張御先六人、御駕籠脇六人、麻上下着用
御供頭耆人、熨斗目上下着用之事

同六日 曇天
今日大谷小源二同道仕、神明江参詣仕少々買物等仕罷帰候事
今日節分一付、今晚御規式頂戴被仰付候事

同七日 晴天
御老中 堀田相模守様 御同人様御用人中
同 松平右近将監様 同 御用人中
御老中 西尾隱岐守様 御同人様御用人中
同 酒井雅楽頭様 同 御用人中様
本田伯耆守様
秋元但馬守様
小笠原縫殿之助様
高山安左衛門様
此間不知
酒井讚岐守様
山添宗智老
右者年始為御祝詞被遊御出、御供罷出候事
付り 御同心熊谷帯刀様御先乘小川貞右衛門殿之事
今夕飯後御理申出大谷市之允殿同道にて風呂屋參候事

昨夜九ツ時御請場出火、早はん打ち申し候に付き早速御用意成され、中の御門迄御出で成され候節しめり打ち申し候故、御帰座成され候事、
同夜八ツ時過ぎ又々御請場出火、早はん打ち申し候に付き御出馬御用意の内しめり打ち、御出で遊ばされず候事、

【86頁】

同四日 晴天
今日無事、

同五日 晴天
今日青松寺え御参詣遊ばされ候に付き、御供罷り出で候事、付り 御供張り御先六人、御駕籠脇六人、麻祓着用、御供頭耆人、熨斗目祓着用之事、

同六日 曇天
今日大谷小源二同道仕り、神明え参詣仕り少々買物等仕り、罷り帰り候事、
今日節分に付き、今晚御規式頂戴仰せ付けられ候事、

同七日 晴天
御老中 堀田相模守様 御同人様御用人中
同 松平右近将監様 同 御用人中
御老中 西尾隱岐守様 御同人様御用人中
同 酒井雅楽頭様 同 御用人中様
本田伯耆守様
秋元但馬守様
小笠原縫殿之助様
高山安左衛門様
此間不知
酒井讚岐守様
山添宗智老
右は年始め御祝詞の為御出遊ばされ、御供罷り出で候事、付り 御同心熊谷帯刀様御先乘小川貞右衛門殿の事
今夕飯後御理り申し出で大谷市之允殿同道にて風呂屋參り候事

同八日

松平大和守様 松平福二郎様 松平薩摩守様

晴天

毛利讃岐守様 右年始為御祝詞被遊御出候事

付り 讃岐守様へ御目録御持參被成候青ふ御式臺一置之

瑞聖寺 天徳寺被成御參詣候事

日ヶ窪へ被遊御出伺候事

付り 御供張同前

今夕飯後御理申出 吉賀善兵衛殿

貞右衛門同道にて風呂屋へ參り候事

同九日

御国元より便有之 藤兵衛様治右衛門様より御状到来之事

晴天

同十日

今御夕飯後 平生之御供張り而山王社へ被遊御參詣直様

糺町天神御參詣同所廣小路被遊御行歩被遊御歸座候事

右御供罷出候事

晴天

同十一日

今日之日付にて藤兵衛様大谷治右衛門様村上喜左衛門様

同御袋儀中川太郎兵衛様方書状差上申候事

今日御理申出増三郎右衛門様大谷小源二同道にて阿可者奈よ

晴天

神明參 茶屋へ立寄淡雪など賞翫仕罷歸候事

今夜御規式之御座敷被召出着座被仰付 御具足御祝

頂戴被仰付 御流之御盃頂戴被仰付候事

同十二日

松平大炊様 松平兵部様 松平越後守様

神尾市左衛門様 宝生新二郎殿 兼藤栄庵老

毛利兵橋様 有馬日向守様 池田丹波守様

晴天

同八日

松平大和守様 松平福二郎様 松平薩摩守様

晴天

毛利讃岐守様 右年始め御祝詞の為御出で遊ばされ候事、

付り 讃岐守様へ御目録御持參成され候、青ふ御式臺に

(これを)置く、

瑞聖寺 天徳寺御參詣成され候事、

日ヶ窪へ御出遊ばされ候事、

付り 御供張り同前、

今夕飯後御理り申し出で吉賀善兵衛殿 大谷市之允殿 由村

貞右衛門同道にて風呂屋へ參り候事、

同九日

御国元より便これあり、藤兵衛様、治右衛門様より御状到来の事、

晴天

同十日

今御夕飯後平生の御供張りにて山王社へ御參詣遊ばされ、直

ぐ様糺町天神へ御參詣、同所廣小路御行歩遊ばされ、御歸座

遊ばされ候事、

右御供罷り出で候事、

晴天

同十一日

今日の日付にして藤兵衛様大谷治右衛門様村上喜左衛門

様へ御袋儀中川太郎兵衛様方書状差し上げ申し候事、

今日御理り申し出で増三郎右衛門様大谷小源二同道に

てあかはなより神明へ參り、茶屋へ立寄り淡雪など賞翫仕り

罷り歸り候事、

今夜御規式の御座敷召し出され着座仰せ付けられ、御具足

御祝頂戴仰せ付けられ、御流れの御盃頂戴仰せ付けられ候

同十二日

松平大炊様 松平兵部様 松平越後守様

神尾市左衛門様 宝生新二郎殿 兼藤栄庵老

毛利兵橋様 有馬日向守様 池田丹波守様

晴天

右年始為御祝詞熊谷帶刀様御同道御先乘嶋尾
五郎右衛門殿御供張御先六人御駕籠脇六人麻上下御
供頭熨斗目麻上下着用被仰付候事 御供罷出候事
今御夕飯後御理申出栗山市之助同道仕風呂屋參候而
神明邊行歩仕少々買物等仕罷歸候事

【86頁】

同十三日
今日無事

晴天

同十四日
今日青松寺 瑞聖寺へ被遊御參詣 御供罷出候事

晴天

同十五日

晴天

今曉八ツ時 御固屋出立被仰付品川口迄被差越候趣者
今朝清水長左衛門様御到着に付御道口迄御使者被進候
御相等之御口上勤之
今夕飯後清水長左衛門様へ御使者を以御口上之趣者永々
御道中無御障御着目出度存候御見廻をも可仕候処御用
障無御座候付以使者御祝申進候由之御口上
付 御彼方様御奏者作問運与申候御相對被成御熨斗
被下御相等之御返答増野庄兵衛を以申上之候事勤之

同十六日

晴天

松平左兵衛祐様 平賀甚能老 中沢八九郎様
小川玄達老 松平中務太夫様 松平出羽守様
内藤記伊守様
右年始為御祝詞被成御出 山王権現へも被遊御參詣
御同心熊谷帶刀様御先乘嶋尾五郎右衛門殿也御供罷出候事
今夕飯後御理申出栗山市之助同道二而直様増上寺
山門江登り候事 今日相成候故山門へ參詣登羅かんへ
參詣仕り經堂へ參詣夫より日陰町へ參少々買物等
仕り罷歸候事

右年始め御祝詞の為熊谷帶刀様御同道、御先乗り嶋尾五郎
右衛門殿、御供張り御先六人、御駕籠脇六人麻裱、御供頭熨
斗目麻裱着用仰せ付けられ候事、御供罷り出で候事、
今御夕飯後御理り申し出で栗山市之助同道仕り、風呂屋へ參
り候て神明邊行歩仕り、少々買物等仕り罷り歸り候事

【86頁】

同十三日
今日無事

晴天

同十四日
今日青松寺 瑞聖寺へ御參詣遊ばされ、御供罷り出で候事、

晴天

同十五日

晴天

今曉八ツ時御固屋出立仰せ付けられ品川口迄差し越され候
趣は、今朝清水長左衛門様御到着に付き、御道口迄御使者
進められ候、御相等の御口上これを勤める、
今夕飯後清水長左衛門様へ御使者を以て御口上之趣は、永
々御道中御障りなく御着き目出度く存じ候、御見廻りをも
仕るべく候処、御用障り御座なく候に付き、使者を以て御祝
い申し進み候由の御口上、
付 御彼の方様御奏者作問運と申し候、御相對成され御
熨斗下さり御相等の御返答、増野庄兵衛を以てこれ
を申し上げ候事、これを勤める、

同十六日

晴天

松平左兵衛祐様 平賀甚能老 中沢八九郎様
小川玄達老 松平中務太夫様 松平出羽守様
内藤記伊守様
右年始め御祝詞の為御出で成され、山王権現へも御參詣遊ば
され、御同心熊谷帶刀様 御先乗り嶋尾五郎右衛門殿也、御
供罷り出で候事、
今夕飯後御理り申し出で栗山市之助同道にて直ぐ様増上寺
山門へ登り候事今日相成り候故、山門へ參り諧登り羅かんへ
參詣仕り經堂へ參詣、夫より日陰町へ參り少々買物等仕り
罷り歸り候事、

同十七日 晴天
今日御理申出大谷市之允品川礼助同道ニ而今朝七ツ
半時御屋敷出立仕 武蔵野へ出 井頭弁天參詣仕
水道之頭 并玉川之水道頭見ル之 夫より帰道風呂屋へ
参り同夜五ツ時御固屋罷歸候事
付り 今日之道法 十里餘り歩行仕候事
付り 桃闌御成場を毛拜見仕候事

同十八日 曇天
今日無事

同十九日 晴天
今日無事

同廿日 晴天
明晩宇田川より為御暇乞
殿様御料理被為進候付 旦那様熊谷帯刀様全毛
被成御出候様ニ与之御案内 此間御彼方御奥年寄より
御手紙ニ而被仰越候付 右御請御礼トメ今日宇田川
被遊御出候事
渡邊久傳老々年始為御祝詞被遊御出候事
愛宕江被遊御參詣 茶屋へ被懸御腰を暫被遊御遠
見 被遊御歸座候事
付り 御供罷出候事

同廿一日 晴天
今日宇田川江熊谷帯刀様御同道ニ而被成御出御供罷出候事

同廿二日 晴天
今日御理申出ぎよらん之観音 目黒不動參詣仕 多祢
清兵衛同道仕候 目黒茶屋へ立寄葉食杯相認め 是より
祐天寺參詣仕り 祐天和尚御名号請之 夫より不春ま
と申在郷にて東光寺參 此寺ニ多祢清兵衛親類
山崎源右衛門家より出候人之石塔位牌等有之 清兵衛
參詣故同道仕候 此寺にて宅野玄寿与申候而 宅野

同十七日 晴天
今日御理り申し出で大谷市之允 品川礼助同道にて今朝七ツ
半時御屋敷出立仕り武蔵野へ出で 井頭弁天參詣仕り
水道の頭 並びに玉川の水道頭を見る、夫より帰道風呂屋へ
参り同夜五ツ時御固屋罷り歸り候事
付り 今日之道法 十里餘り歩行仕り候事、
付り 桃闌御成場を毛拜見仕り候事、

同十八日 曇天
今日無事、

同十九日 晴天
今日無事、

同廿日 晴天
明晩宇田川より御暇乞いの為殿様御料理進ませられ候に付
き、旦那様 熊谷帯刀様へも御出で成され候様にとの御案内、
此の間御彼の方御奥年寄より御手紙にて仰せ越され候に付
き、右御請け御礼として今日宇田川御出で遊ばされ候事、
渡邊久傳老々年始め御祝詞の為御出で遊ばされ候事、
愛宕へ御參詣遊ばされ茶屋へ御腰を懸けられ、暫く御遠見遊
ばされ御歸座遊ばされ候事、
付り 御供罷り出で候事、

同廿一日 晴天
今日宇田川え熊谷帯刀様御同道にて御出で成され、御供罷
り出で候事

同廿二日 晴天
今日御理り申し出でぎよらんの観音・目黒不動參詣仕り、多
祢清兵衛同道仕り候、目黒茶屋へ立寄り葉食杯相認め、是
より祐天寺參詣仕り祐天和尚御名号を請け、夫より不すま
と申すに郷にて東光寺參り、此の寺に多祢清兵衛親類山崎
源右衛門家より出で候人之石塔位牌等これあり、清兵衛參
詣故同道仕り候、此の寺にて宅野玄寿と申し候て宅野

九郎兵衛先祖之親類、下沼郡と申所にて死去之由物語二付、下沼郡へ歸道故少々往還より八寄にて候得共、清兵衛尋申度由被申候付同道仕下沼郡へ参野村八兵衛与申者之所一石塔并位牌等有之、八兵衛申候者玄寿御国元よりは迄御物音無御座候处不被成御造御間柄として御尋被下候段私日頃之相叶素懐、別而忝奉存候、今一夜御滞留被下候様段々往昔之御咄をも仕度存候由二て段々取持申候得共、相理焼香等仕候而歸道又々目黒茶屋へ立寄葉食杯相認及暮五ツ時御屋敷罷歸候事

【9頁】

同廿三日 晴天
今夜九ツ時 御請場出火にて早板打ち御出馬之御用意候内、追付志めり打申候故、御出馬不被遊候事、同夜又々八ツ時御請場出火にて早板打ち申候付御出馬之御用意被遊候内暫く間相有之志めり打申候故不被遊御出馬候事、益由四郎兵衛殿より書状到来之事

同廿四日 晴天
今日御理出、芝泉岳寺へ粟山市之助同道にて参詣仕、赤穂之四十六人之石塔へ参詣仕、同寺内江雲院参詣仕、侯賀源五墓所此寺一有り、参詣仕位牌へ焼香仕香典相備之、歸道高奈王にて茶屋へ立寄、茶食杯相認、夫より通り町恵美酒屋見世棚へ立寄、少々買物仕罷歸候事

同廿五日 晴天
今日天昭院江被遊御参詣、圓珠院へ被成御出、御馳走有之、御供中へ毛茶食被差出、左候而御歸道池之端之弁天へ被成御参詣、彼社内茶屋へ被遊御立寄御酒杯被召上、御供中へ毛御酒被下之、暮前被遊御歸座候事、今晚御理申出栗山市之助田村貞右衛門黒谷團右衛門同道にて風呂屋へ参候事

九郎兵衛先祖の親類、下沼郡と申す所にて死去の由物語に付き、下沼郡へ歸り道故少々往還よりは寄りにて候得共、清兵衛尋ね申し度き由申され候に付き、同道仕り下沼郡へ参り野村八兵衛と申す者の所に石塔並びに位牌等これあり、八兵衛申し候は玄寿御国元よりは迄御物音無御座なく候处、御造(力)か成らざる御間柄として御尋ね下され候段、私日頃の素懐相叶い別して忝なく存じ奉り候、今一夜御滞留下され候様段々往昔の御咄をも仕り度く存じ候由にて、段々取り持ち申し候得共、相理り焼香等仕り候て、歸り道又々目黒茶屋へ立寄り葉食杯相認め、暮五ツ時に及び御屋敷罷り歸り候事、

【6頁】

同廿三日 晴天
今夜九ツ時御請場出火にて早板打ち御出馬の御用意候内、追付しめり打ち申し候故御出馬遊ばされず候事、同夜又々八ツ時御請場出火にて早板打ち申し候に付き、御出馬の御用意遊ばされ候内、暫く間相これあり、志めり打ち申し候故御出馬遊ばされず候事、益由四郎兵衛殿より書状到来の事

同廿四日 晴天
今日御理り出で、芝泉岳寺へ粟山市之助同道にて参詣仕り、赤穂の四十六人の石塔へ参詣仕り、同寺内江雲院参詣仕り、侯賀源五墓所此の寺に有り参詣仕り位牌へ焼香仕り香典(これを)相備え、歸り道高なわにて茶屋へ立寄り茶食杯相認め、夫より通り町恵美酒屋見世棚へ立ち寄り少々買物仕り罷り歸り候事

同廿五日 晴天
今日天昭院へ御参詣遊ばされ、圓珠院へ御出で成され御馳走これあり、御供中へ毛茶食差し出され、左候て御歸り道池の端の弁天へ御参詣成され、彼の社内茶屋へ御立ち寄り遊ばされ、御酒杯召し上がられ御供中へ毛御酒(これを)下され暮前御歸座遊ばされ候事、今晚御理り申し出で栗山市之助・田村貞右衛門・黒谷團右衛門同道にて風呂屋へ参り候事、

同廿六日

縮緬二十卷 銀五十枚

公方様より上使堀田相模守様

縮緬十卷

大御所様より 上使西尾隠岐守様

綾紗十卷

大納言様より 上使秋元但馬守様

右 殿様御暇之御上使を以御拝領之由候事

今日上使為御歡御中屋敷被遊御出候事

同廿七日

晴天

今日為御暇乞殿様江法林院様より御料理被

進候付 旦那様一茂被成御出候様一与之御事一而熊谷

帯刀様御同道にて被成御出 御供罷出候事

今夜五ツ時過 御請場出火一而板打申候処追付志めり

打申候故御出馬を八不被遊候事

同廿八日

曇天

今日御先荷仕出被仰付候事

今日御暇御礼被仰上候為御歡御中屋敷被遊御出 御供

罷出申候事

今晚御理申出栗山市之助横山泰庵村岡与三

同道二而風呂屋參 茶屋立寄酒杯給罷帰候事

今晚火之御番細川様被仰渡候由にて御役首尾能

被遊 御交代被遊候由之事

同廿九日

晴天

今御夕飯後陽泉寺御参詣 麻布御機嫌伺 瑞

聖寺御参詣且御暇乞 毛讚岐守様御暇乞

として被遊御出候付 御供罷出候事

今晚御理申出栗山市之助黒谷團右衛門田村貞右衛門

同道にて風呂屋參り申候事

二月朔日

晴天

今朝御旅中御安全之御祈禱被仰付 御札守并供物

被献之 安富寿悦老御口上申達御返答承之

増野庄兵衛を以申上之御使者相勤之

同廿六日

縮緬二十卷 銀五十枚

公方様より上使堀田相模守様、

縮緬十卷

大御所様より上使西尾隠岐守様、

綾紗十卷

大納言様より 上使秋元但馬守様

右 殿様御暇の御上使を以て御拝領の由に候事

今日上使御歡びの為御中屋敷御出で遊ばされ候事、

同廿七日

晴天

今日御暇乞いの為殿様え法林院様より御料理進められ候に

付き、旦那様にも御出で成され候様にとの御事にて、熊谷帯

刀様御同道にて御出で成され、御供罷り出で候事、

今夜五ツ時過 御請場出火にて板打ち申し候処、追付しめり

打ち申し候故、御出馬をば遊ばされず候事、

同廿八日

曇天

今日御先荷仕出し仰せ付けられ候事、

今日御暇御礼仰上せ上げられ候、御歡びの為御中屋敷御出

で遊ばされ御供罷出で申し候事

今晚御理り申し出で栗山市之助横山泰庵・村岡与三同道に

て風呂屋參り、茶屋立寄り酒杯給わり罷り帰り候事、

今晚火の御番細川様仰せ渡され候由にて御役首尾能く遊ば

され、御交代遊ばされ候由の事、

同廿九日

晴天【読み下し例】

今御夕飯後陽泉寺御参詣、麻布御機嫌伺、瑞聖寺御参

詣且つ御暇乞い、毛利讚岐守様御暇乞いとして御出で遊ばさ

れ候に付き、御供罷り出で候事、

今晚御理り申し出で栗山市之助 黒谷團右衛門・田村貞右衛

門同道にて風呂屋參り申し候事、

二月朔日

晴天

今朝御旅中御安全の御祈禱仰せ付けられ御札守並びに供物

(これを)献じられ、安富寿悦老御口上申し達し御返答(これ

を)承り、増野庄兵衛を以て申し上げ、御使者(これを)相勤め

今日堀田相模守様 同御用人中
松平右近将監様 同御用人中
西尾隱岐守様 同御用人中
酒井雅楽頭様 同御用人中
右為御暇乞被成御出 御先乘小川貞右衛門殿
當日之為御祝儀 御中屋敷被成御出候事
麻布・日ヶ窪 宇田川 毛山城守様 毛甲斐守様
吉左京様御屋敷為御暇乞被成御出候いつれも御供罷出候事

【65頁】

同日 晴天
今日山添宗積老 狩野栄川老此間者為御暇乞
御相等之御礼口上御使者勤之 帰道神明參詣仕候事

同日 曇天
今朝四ツ時 殿様被遊御発駕 御中屋敷被遊御立寄 直様被遊
御発駕至川崎 被遊御止宿 旦那様少間相有之
引続被遊御発駕 御中屋敷被遊御出伺 直様被遊
御発駕至川崎 御本陣被伺御機嫌 川崎駅二而
徳泉寺御立宿之事
同夜五ツ時至神奈川駅 鈴木源太左衛門所被遊御
止宿候事
増三郎右衛門殿多祢清兵衛平二郎三人同宿二而今屋
安左衛門所止宿仕候事

同日 朝晴天昼過曇天
今朝六上刻 神奈川被遊御発駕 御道際故藤沢寺
清浄光寺被遊御参詣 小栗石塔并十人之殿原
石塔被遊御拜覧 至藤沢桑名屋与兵衛所二而御昼
飯被召上候事
同暮六ツ時前至大磯駅 小嶋才二郎所被遊御止宿候事
今晚相宿同前之事 宿主田村屋安右衛門与申候事
今日富士之人穴見之
今日大磯駅 何某所被遊御止宿之所 明日
殿様御昼休之御本陣二而候故 御遠慮有之一通り
御落着被成候得共 俄御宿替被仰付候事
付り 殿様今夜中二而も前之宿何そ不慮之
相成候故之御遠慮茂有之由之事

今日堀田相模守様 同御用人中
松平右近将監様 同御用人中
西尾隱岐守様 同御用人中
酒井雅楽頭様 同御用人中
右御暇乞の為御出で成され、御先乗り小川貞右衛門殿、
當日の御祝儀の為御中屋敷御出で成され候事、
麻布・日ヶ窪 宇田川 毛利山城守様 毛利甲斐守様 吉川左
京様御屋敷御暇乞の為御出で成され候、いすれも御供罷
り出で候事、

【66頁】

同日 晴天
今日山添宗積老 狩野栄川老此の間は御暇乞の為御相等
の御礼口上御使者(これを)勤め、帰り道神明參詣仕候事、

同日 曇天
今朝四ツ時、殿様御発駕遊ばされ御中屋敷御立寄り遊ば
され直ぐ様御発駕遊ばされ、川崎に至り御止宿遊ばされ、旦那
様少し間相これあり、引き続き御発駕遊ばされ御中屋敷へ
御出伺遊ばされ、直ぐ様御発駕遊ばされ、川崎に至り御本陣
御機嫌伺われ、川崎駅にて徳泉寺御立宿の事、
同夜五ツ時神奈川駅に至り鈴木源太左衛門の所御止宿遊ば
され候事、
増三郎右衛門殿、多祢清兵衛平二郎三人同宿にて、今屋
安左衛門の所止宿仕候事、

同日 朝晴天昼過曇天
今朝六上刻神奈川御発駕遊ばされ、御道際故藤沢寺、清浄
光寺へ御参詣遊ばされ小栗石塔并びに十人の殿原石塔御拜
覧遊ばされ、藤沢に至り桑名屋与兵衛の所にて御昼飯召し上
がられ候事
同暮六ツ時前大磯駅に至り小嶋才二郎の所御止宿遊ばされ候事
今晚相宿同前之事、宿主田村屋安右衛門と申し候事、
今日富士之人穴(これ)を見る
今日大磯駅に至り何某の所御止宿遊ばさるの所、明日殿様
御昼休みの御本陣にて候故御遠慮これあり、一通り御落着成
され候得共、俄に御宿替え仰せ付けられ候事、
付り 殿様今夜中にても前之宿何そ不慮の御障りこれあり
候時は、此の駅の御昼休み御本泊りに相成り候故の
御遠慮もこれある由の事、

同五日 晴天
 今朝六ツ時藤沢之駅被遊御発駕至小田原駅 何
 某所二而御昼飯被召上 白七ツ半時箱根御所
 無御滞被遊御往過 同駅駒野左五右衛門所被遊御止宿候事
 箱根御所御通路被遊御節者 先達而大谷市之允
 増野平二郎御所參 御所過書差出之
 御関所役人衆勝手次第御通路被成候様一与挨拶
 有之 其段申上之迄旦那樣一者少御控被遊候而
 御下乘二而御通路被遊候御供中不残往過仕候迄
 市之允平二郎御番所右脇一控居申候 左候而波田重内より
 御供中不残罷通候段申来候故兩人其段相届
 御跡より御本陣罷出候事、
 今日大磯二而鴨立沢兩見之大磯より小田原迄馬二
 乗ル
 今晚相宿同前之事 宿主俣原弥左衛門与申候事

同六日 晴天
 今朝六ツ半時 箱根駅被遊御発駕 至沼津駅高田
 弥三右衛門所二而御昼飯被召上候事
 今日殿様箱根山無御障被遊御越候 仍而為伺
 御機嫌大谷市之允沼津一被残置 御返答承り 從御
 跡參着之事
 沼津被遊御發駕 同暮六ツ半時至吉原駅野口左助
 所被遊御止宿候事
 今晚相宿同前之事 宿主かた者ミヤ新助与申候事
 三嶋明神被遊御參詣御供仕候事

同七日 雨天
 今朝七ツ上刻 吉原駅被遊御發駕候事
 付 毛甲斐守様御參勤被成候 今日於當駅
 殿様御行相被成候御様子相聞 仍而今朝早く御發駕
 被遊候事
 至興津駅市川弥右衛門所御昼飯被召上候事
 至江尻駅毛甲斐守様御本陣被遊御立寄御
 座敷被遊御通候事
 同駅清見寺へ被遊御立寄候 此寺無双之景地二而

同五日 晴天
 今朝六ツ時藤沢の駅御發駕遊ばされ、小田原駅に至り何某
 の所にて御昼飯召し上がられ、白七ツ半時箱根御所御滞
 りなく御往過遊ばされ、同駅駒野左五右衛門の所御止宿
 遊ばされ候事、
 箱根御所御通路遊ばされ候節は、先達て大谷市之允、増
 野平二郎御所參り御所過書(これを)差し出し
 御関所役人衆勝手次第御通路被成され候様にと挨拶これあ
 り、其の段(これを)申し上げ迄旦那樣には少し御控え遊ば
 され候て、御下乘にて御通路遊ばされ候、御供中残らず往
 過仕り候迄市之允平二郎御番所右脇に控え居り申し候、
 左候て波田重内より御供中残らず罷り通り候段申し来た
 り候故兩人其の段相届け御跡より御本陣罷り出で候事
 今日大磯にて鴨立沢・兩見の大磯より小田原迄馬に乗
 る、
 今晚相宿同前之事、宿主俣原弥左衛門と申し候事、

同六日 晴天
 今朝六ツ半時箱根駅御發駕遊ばされ、沼津駅に至り高田
 弥三右衛門の所にて御昼飯召し上がられ候事、
 今日殿様箱根山御障りなく御越し遊ばされ候、仍って御機
 嫌伺いの為大谷市之允沼津に残し置かれ、御返答承り御跡
 より參着の事、
 沼津御發駕遊ばされ、同暮六ツ半時吉原駅に至り野口左
 助の所御止宿遊ばされ候事、
 今晚相宿同前之事、宿主かたはみや新助と申し候事、
 三嶋明神御參詣遊ばされ、御供仕り候事、

同七日 雨天
 今朝七ツ上刻 吉原駅御發駕遊ばされ候事、
 付 毛利甲斐守様御參勤成され候、今日當駅において殿
 様御行相成され候御様子相聞き、仍て今朝早く御
 發駕遊ばされ候事、
 興津駅に至り市川弥右衛門の所御昼飯召し上がられ候事、
 江尻駅に至り毛利甲斐守様御本陣御立寄り遊ばされ、
 御座敷御通り遊ばされ候事、
 同駅清見寺へ御立ち寄り遊ばされ候、此の寺無双の景地に

其上折節頃日庭前之者い梅開花盛二而被遊
御覽候 此梅拾三間余竿之古とく枝者い申候 此寺之
唐紙雪舟之筆墨繪有之候事
付り 御供仕り拜見仕候事
同晩六半時至鞠子 舛屋七右衛門所被遊御止宿候事
今夜相宿同前之事 宿主大和屋十郎平与申候事

【600頁】

同八日 雨天
今朝六ツ時鞠子 駒被遊御出駕 白九ツ時嶋田之 駒
被遊御着此宿二而御昼飯御認め遊筈候得共
昨夜中以来殊外大風雨二而候故 大井川御渡之程
無御心元被思召候付 御昼飯をも召上がられず
被遊御越候処 其内渡り留候故嶋田駒二而松村九郎次
所今晚被遊御止宿候事
當駒今晚殿様御宿被遊候筈二而 御関札有之
候得共 藤枝与嶋田之阿王ひ一瀬戸川与申川満水
二而殿様御渡り不被為非候付岡部之駒二被遊御止宿由候事
御宿松村九郎次所今晚御手廻り頭乃美仁左衛門様御宿
札有之候得共 今晚岡部之駒被遊御止宿候故
旦那樣一先松村九郎次所一被遊御止宿候事
今晚御供中不残御本陣一臥り申候事

同九日

曇天

今日四ツ半時 殿様當駒被遊御着駕候付 為伺
御機嫌御本陣被遊御出伺候事
松村九郎治所 乃美仁左衛門様御宿札有之 今日當駒
殿様被遊御止宿候故 御本陣下り當駒与大井川
与之阿王ひ二小村有之候 宿屋二而八無之候得共
嶋田之駒殿様御泊りに相成 御宿殊外せり候故
昨晩先達而此小村二而増田源七与申所被遊御借請
今日御本陣下り直様源七所被遊御落着 今晚被遊
御止宿候事
今日大井川之渡り留り候故 源七所御滞留被遊候事
相宿増三郎右衛門殿 波田重内多祢清兵衛 増野左平太
平二郎同宿之事 宿主小山雲説与申醫師之事

其の上折節頃日庭前のはい梅開花盛りにて御覽遊ばされ
候、此の梅拾三間余り竿のごとく枝はい申し候、此の寺の唐
紙雪舟の筆墨繪これあり候事、
付り 御供仕り拜見仕候事、
同晩六半時鞠子駒に至り舛屋七右衛門の所御止宿遊ばさ
れ候事、
今夜相宿同前之事、宿主大和屋十郎平と申し候事、

【600頁】

同八日 雨天
今朝六ツ時鞠子 駒御出駕遊ばされ、白九ツ時嶋田の駒御着
き遊ばされ、此の宿にて御昼飯御認め遊ばさるべく筈に候
得共、昨夜中以来殊の外大風雨にて候故、大井川御渡しの
程御心元なく思召され候に付 御昼飯をも召上がられず
直ぐ様川端へ御越し遊ばされ候処 其の内渡り留め候故、
嶋田駒にて松村九郎次の所今晚御止宿遊ばされ候事、
當駒今晚殿様御宿遊ばされ候筈にて御関札これあり候得
共、藤枝と嶋田のあわいに瀬戸川と申す川満水にて殿様御
渡り非せられず候に付き、岡部の駒に御止宿遊ばさる由に
候事、
御宿松村九郎次の所今晚御手廻り頭乃美仁左衛門様御宿
札これあり候得共、今晚岡部の駒御止宿遊ばされず候故、
旦那樣一先松村九郎次の所に御止宿遊ばされ候事、
今晚御供中残らず御本陣に臥り申し候事、

同九日

曇天

今日四ツ半時 殿様當駒御着駕遊ばされ候に付き、御機嫌
伺いの為御本陣御出遊ばされ候事、
松村九郎治の所乃美仁左衛門様御宿札これあり、今日當
駒殿様御止宿遊ばされ候故 御本陣下り、當駒と大井川
とのあわいに小村これあり候、宿屋にてはこれなく候得共、
嶋田の駒殿様御泊りに相成り御宿殊の外せり候故、昨晩先
達て此の小村にて増田源七と申す所御借り請け遊ばされ、
今日御本陣下り直ぐ様源七の所御落着遊ばされ、今晚御
止宿遊ばされ候事、
今日大井川の渡り、留り候故源七の所御滞留遊ばされ候
事、
相宿増野三郎右衛門殿 波田重内多祢清兵衛 増野左平
太 平二郎同宿の事、宿主小山雲説と申す醫師の事、

同十日

曇天

今朝六ツ時御発駕之御触昨晚有之 用意仕候得共
 いまた川明不申 御遅滞之中追付川茂明可申御
 様子相聞 先川端迄被遊御越 川明次第御渡り可
 被遊与之御事一而 源七所被遊御出駕 川端迄被遊
 御出 被遊御待候内 川茂明候段御番所より相触直様
 御渡り被遊候事
 御供之面々侍中間不残川越男三人宛札御渡方
 相成候得共 式人二而 言人二天小衣類持せ 言人瀬歩三
 案内二召連渡り候事
 御供中侍中間不残可た車一乗不申候様一与之
 御触有之 いたれも陸立二相成上下無障相渡候事
 付り 者たかカルも相成 中二八単志ばん着候者も
 有之候事
 水下帯所持仕間敷与之御事一而 御供中不残
 水下帯渡方被仰付候 いたれも木綿帯之事
 川口明け口故いまた水かさ強く脇之下あるいは
 於と可いのも水とい申候事
 大井川無御障四ツ時被遊御渡候事
 御昼飯至見付宿 何之某所一而被遊御認候事
 今日殿様無御障大井川被遊御渡候 依之為伺
 御機嫌金谷之駅二栗山市之助被残置御使者を以
 被伺御機嫌候事
 今夜五ツ時至濱松駅 被遊御着杉浦助右衛門所
 被遊御止宿候事
 増三郎右衛門殿多祢清兵衛同宿之事 宿主米屋
 市郎右衛門与申候事
 今日大井川御無難被遊御越候 依之御供中
 御酒可被遣与之御事二而 今晚御本陣罷出御酒
 頂戴仕候事
 今日見付より濱松之間四里馬一乗候事

同十日

曇天

今朝六ツ時御発駕の御触れ昨晚これあり、用意仕り候得共
 いまた川明け申さず御遅滞の中、追付川も明け申すべく御
 様子相聞き、先川端迄御越し遊ばされ川明け次第御渡り
 遊ばさるべしとの御事にて、源七の所御出駕遊ばされ川端
 迄御出で遊ばされ御待ち遊ばされ候内、川も明け候段御番
 所より相触れ、直ぐ様御渡り遊ばされ候事、
 御供の面々侍 中間残らず川越え、男三人宛札御渡し方相
 成り候得共、式人にて言人に大小 衣類持せ、言人瀬歩み
 案内に召し連れ渡り候事、
 御供中侍 中間残らずかた車に乗り申さず候様にとの御触
 れこれあり、いたれも陸立にて相成り上下障りなく相渡し
 候事、
 付り はだかにも相成り、中には単襦袢着候者もこれあ
 り候事、
 水下帯所持仕り間敷との御事にて、御供中残らず水下帯渡
 し方仰せ付けられ候、いたれも木綿帯の事、
 川口明け口故いまた水かさ強く、脇の下あるいはおとがい
 のど迄も水とい申候事、
 大井川御障りなく四ツ時御渡り遊ばされ候事
 御昼飯見付宿に至り何の某所にて御認め遊ばされ候事
 今日殿様御障りなく大井川御渡り遊ばされ候 これによ
 り御機嫌伺いの為金谷之駅に栗山市之助残し置かれ、御使
 者を以て御機嫌伺われ候事、
 今夜五ツ時濱松駅に至り御着き遊ばされ、杉浦助右衛門の
 所御止宿遊ばされ候事
 増野三郎右衛門殿多祢清兵衛同宿の事、宿主米屋市郎右
 衛門と申し候事、
 今日大井川御無難に御越し遊ばされ候、これにより御供中
 御酒遣わさるべしとの御事にて、今晚御本陣罷り出で御酒
 頂戴仕り候事、
 今日見付より濱松の間四里、馬に乗り候事、

同十一日 雨天
 今朝七ツ上刻 濱松駅可被遊御出駕与之御事二而其用意仕七ツ時杉浦助右衛門所被遊御出駕五六町茂被遊御出候処 見付之駅殿様御本陣より御用文箱到來一付御返答を茂可被遊候得共 途中いまた人家起不申候故從途中御宿杉浦助右衛門所被遊御立歸 御返答被仰付 六ツ上刻當駅被遊御出駕 至二川駅御昼飯被召上候事
 今日暮六時至赤坂駅 長崎屋弥一 左衛門所被遊御止宿候事
 今日御油之駅松平佐兵衛祐様御留り被遊候依之御通懸可被遊御見廻候処 此宿御通路之節いまた佐兵衛祐様不被成御着候付 其儀無御座候事相宿同前之事 宿主錢屋五郎左衛門与申候事

同十一日 晴天
 今朝六ツ上刻 赤坂之駅被遊御出駕至大濱茶屋御昼飯被召上 是より八橋江被遊御立寄候事
 付り 八橋へ御供不仕候事
 今晚六ツ時至鳴海駅 伴野藤十郎所被遊御止宿候事相宿同前之事 宿主錢屋三右衛門与申候事

同十三日 雨天
 今朝六上刻 鳴海駅被遊御出駕 四ツ時至宮駅被遊御着 御立宿被遊御立寄 直様御乗船無御障八ツ時至桑名駅 長崎屋新兵衛所被遊御止宿候事
 今日笠寺参詣仕候事
 今日熱田明神江参詣仕候事
 今日夜相宿同前之事 宿主大津屋平兵衛与申候事

同十四日 晴天
 今朝六ツ半時 桑名之駅被遊御発駕 於富田之茶屋御昼飯被召上候事
 今日八半時 至石薬師駅被遊御着 小沢惣右衛門所御止宿被遊候事

同十一日 雨天
 今朝七ツ上刻濱松駅御出駕遊ばさるべしとの御事にて其の用意仕り、七ツ時杉浦助右衛門の所御出駕遊ばされ候処、五・六町も御出で遊ばされ候処 見付之駅殿様御本陣より御用文箱到來につき付御返答をも遊ばされるべく候得共途中いまた人家起き申さず候故、途中より御宿杉浦助右衛門の所御立ち歸り遊ばされ、御返答仰せ付けられ、六ツ上刻當駅御出駕遊ばされ、二川駅に至り御昼飯召上がられ候事、
 今日暮六時赤坂駅に至り長崎屋弥一 左衛門の所御止宿遊ばされ候事
 今日御油の駅松平佐兵衛祐様御留り遊ばされ候、これより御通り懸け御見廻り遊ばされるべく候処 此の宿御通路の節いまた佐兵衛祐様御着き成されず候に付き、其の儀御座なく候事、相宿同前之事、宿主錢屋五郎左衛門と申し候事

同十二日 晴天
 今朝六ツ上刻赤坂之駅御出駕遊ばされ、大濱茶屋に至り御昼飯召上がられ、是より八橋え御立ち寄り遊ばされ候事、
 付り八橋へ御供仕らず候事、
 今晚六ツ時鳴海駅に至り伴野藤十郎の所御止宿遊ばされ候事、相宿同前之事、宿主錢屋三右衛門と申し候事、

同十三日 雨天
 今朝六上刻鳴海駅御出駕遊ばされ、四ツ時宮駅に至り御着遊ばされ、御立宿御立ち寄り遊ばさる、直ぐ様御乗船御障りなく、八ツ時桑名駅に至り長崎屋新兵衛の所御止宿遊ばされ候事、
 今日笠寺参詣仕候事、
 今日熱田明神え参詣仕候事、
 今日夜相宿同前之事、宿主大津屋平兵衛と申し候事、

同十四日 晴天
 今朝六ツ半時桑名の駅御発駕遊ばされ、富田の茶屋において御昼飯召上がられ候事、
 今日八半時石薬師駅に至り御着き遊ばされ、小沢惣右衛門の所御止宿遊ばされ候事、

相宿同前之事 宿主荒木屋武兵衛与申候事

【102頁】

同十五日

晴天

今朝六ツ上刻石薬師被遊御発駕 於坂下之駅御昼飯被召上候事

今晚六ツ前至水口駅 岡井傳左衛門所被遊御止宿候事
今晚相宿同前之事 宿主松葉屋又左衛門与申候事

同十六日

朝雨天昼後曇天

今朝六上刻水口駅被遊御発駕至草津御昼飯被召上候事
白七ツ時至大津駅 肥前屋九左衛門所被遊御止宿候事

相宿同前之事 宿主江戸屋吉兵衛与申候事
石山觀音江増二郎右衛門殿増野庄兵衛同道ニ而参詣仕候事
木曾義仲之墓所参詣仕候事

同十七日

晴天

今日大津駅被遊御滞留候事
殿様今日當駅被遊御着候付被遊御待請御跡供二而

明日京都被遊御立寄候与之御事
今朝御飯後殿様御着 御間相有之候付 三井寺江
被遊御参詣 御供仕近江八景其外名所旧跡案内者物語
委細承之 三井寺之景 難盡筆頭候事

殿様今日八ツ半時當駅被遊御着駕候付 御着前御本陣被遊
御出 被遊御待請候事 御供罷出候事
今晚暮前從御本陣被遊御下 肥前屋九左衛門所被遊御止宿候
事

相宿同前の事、宿主荒木屋武兵衛と申し候事、

【102頁】

同十五日

晴天

今朝六ツ上刻石薬師御発駕遊ばされ、坂下の駅において御昼飯召し上げられ候事、

今晚六ツ前水口駅に至り岡井傳左衛門の所御止宿遊ばされ候事、
今晚相宿同前の事、宿主松葉屋又左衛門と申し候事、

同十六日

朝雨天昼後曇天

今朝六上刻水口駅御発駕遊ばされ、草津に至り御昼飯召し上げられ候事、

白七ツ時大津駅に至り肥前屋九左衛門の所御止宿遊ばされ候事、

相宿同前の事、宿主江戸屋吉兵衛と申し候事、
石山觀音江増野三郎右衛門殿増野庄兵衛同道にて参詣仕り候事、
木曾義仲の墓所参詣仕り候事、

同十七日

晴天

今日大津駅御滞留遊ばされ候事、
殿様今日當駅御着遊ばされ候に付き御待ち請け遊ばされ、御跡供にて明日京都御立ち寄り遊ばされ候との御事、

今朝御飯後殿様御着き、御間相これあり候に付き三井寺え
御参詣遊ばされ、御供仕り近江八景、其の外名所旧跡案内
者物語委細(これを)承り、三井寺の景筆頭に盡し難く候事、

殿様今日八ツ半時當駅御着駕遊ばされ候に付き、御着き前
御本陣御出で遊ばされ御待ち請け遊ばされ候事、御供罷り
出で候事、

今晚暮前御本陣より御下り遊ばされ、肥前屋九左衛門の所
御止宿遊ばされ候事、

【103頁】

同十八日

晴天

今朝六ツ時殿様大津駅御発駕遊ばされ、京都御立ち寄り遊ばされ候事、

且那樣御跡供にて同断の事、

【103頁】

同十八日

晴天

今朝六ツ時殿様大津駅被遊御発駕京都被遊御立寄候事
且那樣御跡供ニ而同断之事

白四ツ時京都御屋敷被遊御着 直様御殿被遊御出伺
一應御下り 旦那様御木屋札有之候 養心院様

御部屋明御座敷故是江被遊御落着又々御殿被遊御出仕候事
殿様為御勤被遊御出候 此御留守之間相一旦那様一毛
為御勤一條様鷹司様西園寺様江被遊御出 いづれも
御式臺二而御口上被仰置候事

付 御築地廻り通り懸拜見仕候事
付 西園寺様より御帰道 織物師所被遊御立寄被遊御覽
直様御屋敷御帰座被遊候事

白八ツ半時殿様京都被遊御発駕候付 旦那様一者被遊御見廻
直様黄梅院江可被遊御参詣与之御事一而随分被遊御急御早
馬一而被遊御参詣御供之面々毛御焼香被仰付於黄梅院
茶漬食所望仕御供中相認候左候而大徳寺江被遊御参詣
被遊御焼香御供中毛御焼香被仰付候事

直様大徳寺被遊御立山駕籠へ被為召随分早く参候様一与
之御事一而東福寺之門前二而殿様江被遊御追付是より御跡
御志たへ被成候而今晚六ツ時伏見駅御本陣被遊御着被遊御出伺
御相伴之御料理御頂戴被遊候由二而御 被遊候由之事

今日大仏之前被遊御通候得共至極之御急故御参詣をも不被成
候事

御供之面々此間之旅旁一而御供茂續不申候得共不苦与之
御事一而始終御供仕候者黒谷團右衛門増野平二郎中間分一者
御馬やノ岩右衛門同所ノ茂右衛門之外御供一後連候事

今晚相宿増三郎右衛門殿増野庄兵衛多祢清兵衛安富傳二右衛門
同宿仕候事 宿主大仏屋四郎兵衛与申候事
今晚御本陣錢屋善兵衛所被遊御止宿候事

同十九日 曇天
今朝六ツ時御本陣被遊御出伺殿様御発駕被遊御見立一
應錢屋善兵衛所被遊御帰座暫ク御間相有之御出駕被遊候事
今日より殿様御跡を被遊御旅行候事

白四ツ時京都御屋敷御着き遊ばされ、直ぐ様御殿御出伺遊
ばされ一應御下り、旦那様御木屋札これあり候、養心院様
御部屋明け御座敷故是え御落着遊ばされ、又々御殿御出仕
遊ばされ候事、

殿様御勤めの為御出で遊ばされ候、此の御留守の間相に旦那
様にも御勤めの為一條様、鷹司様、西園寺様え御出で遊ばさ
れ、いづれも御式臺にて御口上仰せ置かれ候事、

付 御築地廻り通り懸かり拜見仕り候事、
付 西園寺様より御帰り道、織物師所御立寄遊ばされ御
覽遊ばされ、直ぐ様御屋敷御帰座遊ばされ候事、

白八ツ半時殿様京都御発駕遊ばされ候に付き、旦那様には
御見廻り遊ばされ、直ぐ様黄梅院え御参詣遊ばさるべしとの御
事にて随分御急ぎ遊ばされ御早馬にて御参詣遊ばされ御供の
面々毛御焼香仰せ付られ、黄梅院において茶漬食所望仕り
御供中相認め候、左候て大徳寺え御参詣遊ばされ御焼香遊
ばされ、御供中毛御焼香仰せ付られ候事、

直ぐ様大徳寺御立ち遊ばされ山駕籠合白され、随分早く参り
候様にとの御事にて、東福寺の門前にて殿様え御追付遊
ばされ、是より御跡御したへ成され候て、今晚六ツ時伏見駅
御本陣御着き遊ばされ、御出伺遊ばされ、御相伴の御料理
御頂戴遊ばされ候由にて御 遊ばされ候由の事、

今日大仏の前御通り遊ばされ候得共、至極の御急ぎ故御参
詣をも成されず候事、

御供の面々此の間の旅旁にて御供も續き申さず候得共、苦
しからずとの御事にて始終御供仕り候者黒谷團右衛門、増野
平二郎、中間分には御馬やの岩右衛門、同所ノ茂右衛門の外
御供に後連れ候事、

今晚相宿増野三郎右衛門殿、増野庄兵衛、多祢清兵衛、安富
傳二右衛門同宿仕り候事、宿主大仏屋四郎兵衛と申し候事
今晚御本陣錢屋善兵衛の所御止宿遊ばされ候事、

同十九日 曇天
今朝六ツ時御本陣御出伺遊ばされ、殿様御発駕御見立て遊
ばされ、一應錢屋善兵衛の所御帰座遊ばされ、暫く御間相こ
れあり御出駕遊ばされ候事、
今日より殿様御跡を御旅行遊ばされ候事、

白九ツ時至山崎駅 岩清水八幡宮被遊御參詣當社之前一而
御酒被召上 御閑一被遊候事 御供一而參詣仕候事

白八ツ半時至芥川駅 河内屋吉兵衛所被遊御止宿候事
今晚相宿増三郎右衛門殿同宿之事 宿主玉屋新助与申候事

【105頁】

同廿日 晴天
今曉七ツ時 芥川被遊御出駕 六ツ時過郡山被遊御着候事

殿様昨夜郡山被遊御止宿候処、いまだ御発駕不被遊候故直様御本陣
被遊御出伺 被相伺御機嫌殿様御立以後御跡を御志た被成候而
西ノ宮合八ツ時被遊御着 御本陣被遊御出伺 御相伴一而御料理
御頂戴被遊候由之事

伊勢大神宮江御道中より栗山市之助御代參被仰付於當駅御被
被献之候事
御料理被遊御頂戴候以後 御暇乞被仰上 今日兵庫迄御先江
被遊御出候於兵庫駅同夜四ツ時被遊御着明石屋助太夫所被遊
御止宿候事

今晩宿主 大工喜平二と申候事 相宿同断之事

今昼昆陽之駅二而御昼飯被召上候事

西ノ宮之駅二而 要心寺与申真宗寺江被遊御立寄御供中江茂
昼飯認被仰付 七ツ時過直一當駅被遊御出駕候事

西ノ宮被遊御參詣候事 御供仕參詣仕候事

此間一桶之石塔有之候得共夜中通り候故參詣をも不得仕候事
尤去年江戸罷登候節船中一而候処當浦入津仕候故其節參詣仕
候事

【106頁】

白九ツ時山崎駅に至り岩清水八幡宮御參詣遊ばされ、當
社の前にて御酒召し上がられ御閑かに遊ばされ候事、御供
にて參詣仕り候事、

白八ツ半時芥川駅に至り河内屋吉兵衛の所御止宿遊ばさ
れ候事、

今晚相宿増野三郎右衛門殿同宿の事、宿主玉屋新助と申
し候事、

【105頁】

同廿日 晴天
今曉七ツ時芥川御出駕遊ばされ、六ツ時過ぎ郡山御着き
遊ばされ候事、

殿様昨夜郡山御止宿遊ばされ候処、いまだ御発駕遊ばされ
ず候故、直ぐ様御本陣御出伺遊ばされ御機嫌相伺われ、殿
様御立ち以後御跡を御した成され候て西ノ宮合八ツ時
御着き遊ばされ、御本陣御出伺遊ばされ、御相伴にて御料
理御頂戴遊ばされ候由の事、

伊勢大神宮江御道中より栗山市之助御代參仰せ付けられ、
當駅において御被いこれを献じられ候事、
御料理御頂戴遊ばされ候以後、御暇乞い仰せ上げられ、今
日兵庫迄御先江御出で遊ばされ候、兵庫駅において同夜四
ツ時御着き遊ばされ、明石屋助太夫の所御止宿遊ばされ候
事、

今晩宿主 大工喜平一と申し候事、相宿同断の事、

今昼昆陽の駅にて御昼飯召し上がられ候事、

西ノ宮の駅にて要心寺と申す真宗寺え御立ち寄り遊ばさ
れ、御供中も昼飯認め仰せ付けられ、七ツ時過ぎ直に當駅
御出駕遊ばされ候事、

西ノ宮御參詣遊ばされ候事、御供仕り參詣仕り候事、

此の間に桶の石塔これあり候得共、夜中通り候故參詣をも
仕り得ず候事、尤も去る年江戸罷り登り候節、船中にて候
処、當浦入津仕り候故、其の節參詣仕り候事、

【106頁】

同廿一日 曇天
今朝六上刻兵庫駅被遊御出駕至大久保駅 御昼飯被召上候事
同夜五ツ時至御着駅 加藤十郎太夫所被遊御止宿候事
今晚相宿同断 宿主天野屋与三左衛門与申候事
行程十三里内五里五十一道
今日敦盛之石塔へ參詣仕候事

同廿二日 曇天
今朝六ツ上刻御着駅被遊御出駕候事
今昼九ツ時至 之駅被遊御着御昼飯被召上候事
今晚七ツ時過至有年駅被遊御着清水茂右衛門所被遊御止宿候事
今晚相宿同断 宿主丸屋九郎左衛門与申候事

同廿三日 晴天
今朝六ツ時有年駅被遊御出駕 昼九ツ時至竹上御昼飯被召上候事
今晚七ツ時過至藤井駅 被遊御着安井八郎兵衛所被遊御止宿候事
今晚相宿同断 宿主茶屋三吉与申候事

同廿四日 晴天
今朝六ツ上刻藤井駅被遊御出駕 昼九ツ時至河邊駅御昼飯被召上候事
今晚七ツ時過至矢掛被遊御着中西茂市左衛門所被遊御止宿候事
今晚相宿同断 宿主中村屋新右衛門与申候事
今日吉備津宮被遊御參詣御供仕參詣仕候事

同廿五日 晴天
今朝七ツ半時矢掛駅被遊御出駕 昼九ツ時至神邊御昼飯被召上候事
今晚七ツ時過至尾道駅 中屋孫兵衛所被遊御止宿候事
今晚相宿同断 宿主大黒屋八右衛門与申候事

同廿一日 曇天
今朝六上刻兵庫駅御出駕遊ばされ、大久保駅に至り御昼飯召し上がられ候事、
同夜五ツ時御着駅に至り加藤十郎太夫の所御止宿遊ばされ候事
今晚相宿同断、宿主天野屋与三左衛門と申し候事、
行程十三里内五里五十一道
今日敦盛の石塔へ參詣仕り候事、

同廿二日 曇天
今朝六ツ上刻御着駅御出駕遊ばされ候事
今昼九ツ時 **イカルガ(カ)**之駅に至り御着遊ばされ、御昼飯召し上げられ候事
今晚七ツ時過至有年駅に至り御着遊ばされ、清水茂右衛門の所御止宿遊ばされ候事、
今晚相宿同断、宿主丸屋九郎左衛門と申し候事、

同廿三日 晴天
今朝六ツ時有年駅御出駕遊ばされ、昼九ツ時竹上に至り御昼飯召し上げられ候事、
今晚七ツ時過至藤井駅に至り御着遊ばされ、安井八郎兵衛の所 御止宿遊ばされ候事、
今晚相宿同断、宿主茶屋三吉と申し候事、

同廿四日 晴天
今朝六ツ上刻藤井駅御出駕遊ばされ、昼九ツ時河邊駅に至り御昼飯召し上げられ候事、
今晚七ツ時過至矢掛に至り御着遊ばされ、中西茂市左衛門の所御止宿遊ばされ候事、
今晚相宿同断、宿主中村屋新右衛門と申し候事、
今日吉備津宮御參詣遊ばされ、御供仕り參詣仕り候事、

同廿五日 晴天
今朝七ツ半時矢掛駅御出駕遊ばされ、昼九ツ時神邊に至り御昼飯召し上げられ候事、
今晚七ツ時過至尾道駅に至り田中屋孫兵衛の所御止宿遊ばされ候事、
今晚相宿同断、宿主大黒屋八右衛門と申し候事、

今昼神邊殿様御止宿被遊候 為伺御機嫌御使者大谷市之允當駅被残置 被相伺御機嫌候事

同廿六日

晴天

今朝六ツ半時尾道被遊御出駕昼九ツ時至本郷御昼飯被召上候事
今晚六ツ時至田万里村砂島吉郎兵衛所被遊御止宿候事

今晚西条駅御泊り之筈候処 松平安藝守様西条御泊り被成

候故 田万里村一被遊御止宿候事
今晚相宿増三郎右衛門殿波田重内相宿之事 宿主糎屋半右衛門与申候事

同廿七日

曇天

今朝六ツ半時田万里村被遊御出駕至上瀬村茶屋二而御昼飯被召上候事
今晚八ツ時過至海田駅被遊御着猫屋彦六所 被遊御止宿候事

今晚増三郎右衛門殿相宿之事 宿主山本屋兵左衛門与申候事

【108頁】

同廿八日

雨天

今朝七ツ時海田駅被遊御出駕候事
今昼四ツ時廿日市一而紙屋了傳所二而御昼飯差上度段并先達而御願申上御道口へも御迎二罷出 段々之御取持申上御供中へも結構之饗應仕候事

了傳父子へ拝領物等被仰付由之事此了傳御家来出之者一候事

今晚六ツ時至久芳駅 平田半右衛門所被遊御止宿候事

今晚相宿同断 宿主嶋屋安右衛門与申候事

同廿九日

終日雨天

今朝六ツ時久芳駅被遊御出駕 昼九ツ時至高森駅受光寺二而御昼飯被召上御供中茂昼飯仕出二而於同寺相認候事

今昼神邊殿様御止宿遊ばされ候、御機嫌伺いの為御使者大谷市之允當駅残し置かれ 御機嫌相伺われ候事

同廿六日

晴天

今朝六ツ半時尾道御出駕遊ばされ、昼九ツ時本郷に至り御昼飯召し上がられ候事、
今晚六ツ時田万里村に至り砂島吉郎兵衛の所御止宿遊ばされ候事

今晚西条駅に御泊まりの筈に候処、松平安芸守様西条御泊り成され候故、田万里村に御止宿遊ばされ候事、

今晚相宿増野三郎右衛門殿・波田重内相宿の事、宿主糎屋半右衛門と申し候事、

同廿七日

曇天

今朝六ツ半時田万里村御出駕遊ばされ、上瀬村に至り茶屋にて御昼飯召し上がられ候事、

今晚八ツ時過海田駅に至り御着遊ばされ猫屋彦六の所御止宿遊ばされ候事

今晚増野三郎右衛門殿相宿の事、宿主山本屋兵左衛門と申し候事

【108頁】

同廿八日

雨天

今朝七ツ時海田駅御出駕遊ばされ候事、
今昼四ツ時廿日市にて、紙屋了傳の所にて御昼飯差し上げ度き段並びに先達て御願い申し上げ、御道口へも御迎えに罷り出で、段々の御取り持ち申し上げ、御供中へも結構の饗應仕り候事、

了傳父子へ拝領物等仰せ付けられ由の事、此の了傳御家来出の者に候事

今晚六ツ時久芳駅に至り、平田半右衛門の所御止宿遊ばされ候事

今晚相宿同断、宿主嶋屋安右衛門と申し候事、

同廿九日

終日雨天

今朝六ツ時久芳駅御出駕遊ばされ、昼九ツ時高森駅に至り受光寺にて御昼飯召し上がられ、御供中も昼飯仕出しにて同寺において相認め候事、

小瀬村より御国中一相成候而者 御代官支配所ハ御備先ハ杖払
代官より被差出候事
御代官衆并下役人御道口迄御出之事
完出雲様 清水長左衛門様 其外此邊御領分之衆中様より
御使者を以被相伺御機嫌候付 旦那様ハ毛御相應之
御口上ニ而御使者被差越候事
郷ニ而八住屋役人御道口罷出 披露仕候事
同夜五ツ時至花岡駅被遊御着野村又左衛門所被遊御止宿候事
今晩増三郎右衛門殿波田重内相宿之事 宿主村屋新右衛門与
申候事
今日殿様高森之駅被遊御止宿候付 當駅大谷市之允
被残置 御使者を以被相伺御機嫌候事
付り 今日御国中へ入らせられ候、これにより御使者
御機嫌候由之事
小瀬村より粟山市之助御使者トハ岩国江被遣候事御近邊被成
御通路候付 御使者を以御安否被聞召候由之事

【106頁】

同三十日

昏過迄雨天

今朝六ツ時過 花岡駅被遊御出駕候事
今昼四ツ時 至福川駅御昼飯被召上候事
今昼九ツ時 堅田安房様御領分扁た村ニ而安房様御領分
被遊御通路候故 安房様より御馳走トハ扁た村市ニ而酒屋ニ
於いて御昼飯被差出 御供中并中間分迄茂御馳走被仰付候事
明日扁た村御通路与安房様御家来衆被聞候故 間違相成
其内福川ニ而御昼飯被召上候得共御彼方様より御馳走故又々
扁た市ニ而御馳走被遊御受候事

御国中一相成候而者支配支配より御先払差出尤此邊御所領之
御方様よりモ御先払被差出候事
付り 御先払罷出候者江御銀子吉通宛被遣之候事

三田尻宿口ハ向所御役人中 町方役人中 為御迎被罷出候事

白七ツ半時至三田尻 専祢寺被遊御止宿候事

今晩當駅御着 御本陣御客有之 御奏者相勤候事

小瀬村より御国中に相成り候ては、御代官 支配所は御
備え先ハ杖払、代官より差し出され候事、
御代官衆並びに下役人御道口迄御出での事、
完道出雲様、清水長左衛門様、其の外此の邊り郷領分の
衆中様より御使者を以て御機嫌相伺われ候に付き、旦那
様ハ毛御相應の御口上にて御使者差し越され候事、
郷にては庄屋、役人御道口罷り出で披露仕り候事、
同夜五ツ時花岡駅に至り御着き遊ばされ、野村又左衛
門の所御止宿遊ばされ候事、
今晩増野三郎右衛門殿、波田重内相宿の事、宿主村屋新
右衛門と申し候事、
今日殿様高森の駅御止宿遊ばされ候に付き、當駅大谷
市之允残し置かれ御使者を以て御機嫌相伺われ候事、
付り 今日御国中へ入らせられ候、これにより御使者
を以て御機嫌相伺われ候由の事、
小瀬村より粟山市之助御使者として岩国え遣わされ候
事、御近邊御通路成され候に付き、御使者を以て御安否
聞し召され候由の事、

【106頁】

同三十日

昏過迄雨天

今朝六ツ時過ぎ 花岡駅御出駕遊ばされ候事
今昼四ツ時 福川駅に至り御昼飯召上られ候事
今昼九ツ時 堅田安房様御領分へた村にて安房様御領分御
通路遊ばされ候故、安房様より御馳走として、た村市に
て酒屋において御昼飯差し出され御供中并びに中間分迄
モ御馳走仰せ付けられ候事、
明日へた村御通路与安房様御家来衆聞かれ候故、間違
相成り、其の内福川にて御昼飯召上がられ候得共、御
彼の方様より御馳走故又々へた市にて御馳走御受遊ばさ
れ候事、
御国中に相成り候ては支配支配より御先払い差し出し、
尤も此の邊り御所領の御方様よりモ御先払い差し出され
候事、
付り 御先払い罷り出で候者え御銀子吉通宛（これ
を）遣わされ候事

三田尻宿口ハ向所御役人中 町方役人中 御迎えの為
罷り出でられ候事

白七ツ半時三田尻駅に至り専祢寺御止宿遊ばされ候
事、

今晩當駅御着き、御本陣御客これあり、御奏者相勤め候
事、

今晚増三郎右衛門殿相宿之事宿主御手舂子清右衛門与申候事

【110頁】

三月朔日

雨天

今日三田尻御滞留被遊候事
今昼七ツ時前 當駅殿様被遊御着駕候付 御着以前
御本陣被遊御出 御待請被遊候事 御供罷出候事

同日

雨天

今朝七ツ半時 三田尻御茶屋被遊御出伺候事
殿様六ツ上刻 當駅被遊御発駕候付 旦那様二者御発駕
被遊 御見立御跡を被遊御供候事
宮市天神江被遊御参詣 御供仕参詣仕候事
白四ツ時過 山口被遊御着山田所二御落着被遊候事
殿様氷上御参詣被遊 旦那様直様山口被遊御越 當駅
一而暫ク被遊御控 殿様御着之上御茶屋御出伺被遊
御発駕以後又々山田所被遊御帰座 是より御跡を御供被
遊候事
暮六ツ時至佐々並駅 被遊御着御茶屋 被遊御出伺候事
殿様二八當駅被遊御止宿候事
旦那様二八是より又々御先へ被遊御越 至明木駅随光寺
被遊御止宿候事
相宿同断 宿主永井平助与申候事

【111頁】

同三日

雨天

今朝五ツ時 明木之駅殿様被遊御通路候 旦那様二者
其内御発駕御用意被仰付 殿様御通過被成候御跡を
御供被成候事
白四ツ時過 萩被遊御帰着 直様殿様御供一而
御登城被遊候事
白八ツ時過 被遊御下城 御屋敷被遊御帰座候事
付り 御帰懸大馬場より八御供人数御減被成候事
付り 平二郎事御登城御供被仰付候事

今晚増野三郎右衛門殿相宿の事、宿主御手舂子清右衛門と申し候事、

【110頁】

三月朔日

雨天

今日三田尻御滞留遊ばされ候事、
今昼七ツ時前 當駅殿様御着駕遊ばされ候に付き、御着き以前
御本陣御出で遊ばされ御待ち請け遊ばされ候事、御供罷り出で
候事、

同日

雨天

今朝七ツ半時 三田尻御茶屋御出伺遊ばされ候事、
殿様六ツ上刻 當駅御発駕遊ばされ候に付き、旦那様には御発
駕御見立遊ばされ、御跡を御供遊ばされ候事、
宮市天神え御参詣遊ばされ、御供仕り参詣仕候事、
白四ツ時過 山口御着遊ばされ山田所二御落着遊ばされ候事
殿様氷上御参詣遊ばされ旦那様直様山口御越遊ばされ當駅に
て暫ク御控え遊ばされ殿様御着の上御茶屋御出伺遊ばされ御発
駕以後又々山田所御帰座遊ばされ是より御跡を御供遊ばされ
候事
暮六ツ時佐々並駅に至り御着き遊ばされ、御茶屋御出伺遊ばさ
れ候事、
殿様には當駅御止宿遊ばされ候事、
旦那様には是より又々御先へ御越し遊ばされ、明木駅に至り随
光寺御止宿遊ばされ候事、
相宿同断、宿主永井平助と申し候事、

【111頁】

同三日

雨天

今朝五ツ時 明木の駅殿様御通路遊ばされ候、旦那様には其の内
御発駕御用意仰せ付けられ、殿様御通過成され候御跡を御供成
され候事、
白四ツ時過 萩御帰着遊ばされ、直ぐ様殿様御供にて
御登城遊ばされ候事、
白八ツ時過 御下城遊ばされ、御屋敷御帰座遊ばされ候事
付り 御帰懸大馬場よりは御供人数御減し成され候事
付り 平二郎事御登城御供仰せ付けられ候事

御歸座之上江戸御供中并在萩老中江御目見被仰付御熨斗頂戴被仰付候事

同四日

雨天

今日無事 御届申出十日市江御見廻仕候事

同五日

曇天

今御夕飯御料理頂戴被仰付御目見被仰付 此度者別而苦勞仕候通 有難被成御意候事

同六日

晴天

今朝六ツ時 萩出立仕須佐龕歸候事
白七ツ時過 歸宿仕候事

千秋万歳

増野平二郎護忠

御歸座の上江戸御供中並びに在萩老中え御目見仰せ付けられ、御熨斗頂戴仰せ付けられ候事、

同四日

雨天

今日無事 御届け申し出で、十日市え御見廻り仕り候事、

同五日

曇天

今御夕飯御料理頂戴仰せ付けられ、御目見仰せ付けられ、此の度は別して苦勞仕り候通、あり難く御意成され候事、

同六日

晴天

今朝六ツ時 萩出立仕り須佐龕り歸り候事、
白七ツ時過ぎ 歸宿仕り候事、

千秋万歳

増野平二郎護忠

【元】